オンライン上映会

10/3 (火) ~9 (月・祝)

(期間中は自由に視聴できます)

〈対 象〉 武蔵村山市民の方(在学・在勤含む)

〈定 員〉 100 人(<u>要申込み</u>·先着順)

〈参加費〉 無料(通信料自己負担)

〈締め切り〉 9/29 (金) 午後5時

武 蔵 村 山 市 在 宅 医 療・介 護 連 携 支 援 センター 月~金曜日 9 時~17 時(祝日除く) **②** 042-511-0231 (武蔵村山市委託事業)



ぼけますから、よろしくお願いします。



(監督・信友直子) は、ドキュメンタリー 制作に携わるテレビディレクター。18歳で 大学進学のために上京して以来、40年近 く東京暮らしを続けている。結婚もせず仕 静かに見守っている。

そんな「私」に45歳の時、乳がんが見 つかる。めそめそしてばかりの娘を、ユー モアたっぷりの愛情で支える母。母の助 けで人生最大の危機を乗り越えた「私」は、 で放送されると、視聴者から再放送の希

てリンゴの皮をむく父。仕事を捨て実家に けた意欲作。

を撮ることが自分の使命だと思い始め--

■ 大反響のテレビドキュメンタリー、 待望の映画化。

娘である「私」の視点から、認知症の 事に没頭するひとり娘を、両親は遠くから 患者を抱えた家族の内側を丹念に描いた ドキュメンタリー。2016年9月にフジテレビ /関西テレビ「Mr.サンデー」で2週にわ たり特集され、大反響を呼んだ。その後、 継続取材を行い、2017年10月にBSフジ 父と母の記録を撮り始める。だが、ファイ 望が殺到。本作は、その番組をもとに、 ンダーを通し、「私」は少しずつ母の変化 追加取材と再編集を行った完全版である。 娘として手をさしのべつつも、制作者とし 病気に直面し苦悩する母。95歳で初め てのまなざしを愛する両親にまっすぐに向





ぼけますから、 よろしくお願いします。

監督書き下ろしによる待望の書籍化!

あのシーン・この場面を撮影した時の心情、

「ぼけますから、よろしくお願いします。」 信友直子 著 (株) 新瀬社 / 1.500円 (税込) / 2019年10月21日刊行 / ※全国書店でも発売



お申込方法

①当センターHP 申込フォームよりお申込みください。



https://www.yamatokai.or.jp/supportcenter/service/renkei/mm/ ※申込者1名につき1つのメールアドレスが必要です。

- ②自動返信の他、後日、担当者より受付完了メールが届きます。 申込後1週間経っても確認できない場合には、ご連絡ください。
 - ※携帯電話のメールアドレスでは一部ドメイン指定の設定により送受信できな い恐れがある為、PCメールアドレスを推奨いたします。

ご視聴にあたり

- ○インターネット接続が必要となります。
- ○アプリのダウンロードやサイトの登録等の必要はありません。
- ○視聴される際には同一の端末よりご視聴ください。 (PC とスマホ等、複数の端末から視聴することはご遠慮ください)
- ○PC やスマートフォン、タブレット等の端末1台につき1人の個別鑑賞でご視 聴ください。
- ※1 台の端末にて複数人で視聴すること、プロジェクター等で映し出して複数 人で視聴することはできません。
- ○動画の撮影、録音、画面録画、スクリーンショットは厳禁です。

ご協力よろしくお願いいたします